

学校関係者評価書

四日市市立富田中学校 学校づくり協力者会議

委員長 棚瀬 護 印

| 評価項目 | 評価のまとめ |
|---------------------------------|---|
| <p>基盤 教職員の資質・ 能力の向上</p> | <p>・研修について 教職員全員が指導を受ける個人研修、多様な経験層で検討し合う全体研修のスタイルは若手教員への伝承の機会として意義あるものと思われる。今後さらにOJTを充実させたり相互参観の機会を増やしていくなどの改善方針にも賛同できる。</p> <p>・学校評価について 自己評価書の作成に大変な労力をかけるより、他の取り組みに力を注ぐ方が望ましい。現在進められている評価計画の簡略化に賛同する。生徒・保護者アンケートの集計等も以前より見やすく内容もとらえやすい。</p> |
| <p>重点1 生きる力の向上</p> | <p>・学力向上について より分かりやすい授業を目指しての授業研修、CRT活用を継続して、各学年のさらなる学力向上を目指して欲しい。 不安定な家庭環境で十分に支えられていない生徒を、授業等での教師からの励ましで補ってもらっている。より働きかけを深めていただくことを期待する。</p> <p>・規範意識、自己肯定感について 学校全体が落ち着いているのは喜ばしいが、線が細い印象を受ける。生徒アンケートでの自己肯定感の数値が低い。体験学習・人権学習を通して自信をつけさせる取り組み、周囲を思いやることによって「誰もが安心できる場面」を増やす取り組みのさらなる充実を図って欲しい。また、生徒アンケートの規範意識の自己評価が保護者アンケートより低いのはどういう点からか掘り下げてみてはどうかと思う。</p> <p>・体力向上について 大人になって重要な、継続する力・やり遂げる力につながる。新体力テストを全国平均に近づけて欲しい。体育時のランニング、学びの一体化による小学校との連携など今後も継続して行って欲しい。</p> |
| <p>重点2 開かれた学校</p> | <p>・家庭や地域との連携について 学校公開日の設定や学校HPの更新など、取り組みとして評価できる。地域・学校がそれぞれ住民・保護者にその取り組みをアピールし連携を図ることが重要と思われる。 地域の防災訓練に中学生も参加してもらっている。今後も無理のない形で定着を図っていきたい。生徒会や吹奏楽部なども地域の行事に積極的に参加してもらっている。中学生の参加はありがたい。さらに連携を深めていきたい。</p> <p>・文化祭等の保護者参観について 文化祭や体育祭に保護者や地域住民がたくさん参加していた。しかし、静かにすべきところで話し続けるなど大人として恥ずかしい面もあった。PTA等からの呼びかけも必要と思われる。</p> |
| <p>重点3 安全・安心な学習環境</p> | <p>・交通安全や通学路について 日常の交通指導など、安全な学校づくりによく取り組んでもらっている。下校時に自転車の横並びが多少改善された。通学路として認められていない信号のない交差点を通る生徒を見かける。家庭からの呼びかけも必要である。 自転車通学の拡大を求める保護者意見について、学校側も一部検討しているが、体力の向上・安全性などの面からも徒歩通学の重要性も伝える必要がある。何事も多くの視点からとらえ、だめなものはだめと毅然として言うことも大切である。</p> <p>・防災について 新校舎の建設が進めば防災拠点としての役割も重要。防災訓練の会場に使うなど将来的により連携を強化したい。中学生としても無理なく訓練に参加して、できる範囲で地域の人間としての役割を担ってもらいたいと考える。</p> |